

科目名		インターンシップ(Internship)							
学年	専攻	単位数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年 第2学年	経営情報工学専攻	2 単位	必修	実習	通年 480 分/週	120 時間			
担当教員	【常勤】専攻科生指導教員・専攻科主任								
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	次の3点が到達レベルである。 (1)実務問題を理解し、その問題に対応できる。 (2)就業体験における成果を報告書にまとめることができる。 (3)就業体験の概要を発表できる。								
学習・教育目標	(A)(3)		JABEE基準1(2)		(e), (d)-(1)				
関連科目、教科書および補助教材									
関連科目									
教科書									
補助教材等	過去のインターンシップ報告書								
達成度評価(%)									
(1)実務問題を理解し、その問題に対応できる。	(1)報告書により評価する。						30		
(2)就業体験における成果を報告書にまとめることができる。	(2)報告書により評価する。						30		
(3)就業体験の概要を発表できる。	(3)報告会により評価する。						40		
評価方法 指標と評価割合	(1)報告書	(2)報告書	(3)報告会	レポート	口頭	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	40						100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	○	○	○						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	◎	◎	○						
汎用的技能 【】	◎ コミュニケーションスキル	◎ 情報収集・活用・発信力	◎ 課題発見						
態度・志向性(人間力) 【】	○ 主体性	○ 自己管理力	◎ 未来志向性、キャリアデザイン力						
総合的な学習経験と創造的思考力 【】									
学習上の留意点、学習上の助言									
企業などでの長期にわたる種々の就業体験を通じ、実務問題の理解と対応能力を身に付けることを目的とする。また就業体験を通して、仕事の進め方、社会人としての接し方を学び、社会が要求し期待する職業人としての技術者像を確立する。原則として夏期休業期間中に3週間以上企業等に行き、就業体験をする。就業体験を報告書としてまとめ、その内容を発表する。									

## 授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	インターンシップの概要 ・実習期間は、1年次又は2年次の夏期休業期間を原則とし、3週間以上とする。 ・実習テーマ及び実習期間は実習先から提示されたものを基本とし、指導教員と実習先とで協議の上決定する。		
2	・事前指導として、社会人として守らなければならない基本的なルールの徹底と心構えについて指導を行う。 ・指導教員は、必要に応じ状況の把握と指導を行うものとする。		
3	・実習中に日々の実習内容をインターンシップ実習日誌に記録し、実習先の点検を受けた後、本校へ提出する。 ・実習終了時にインターンシップ報告書を作成し、実習先と本校へ提出する。 ・実習終了後、インターンシップ報告会において実習内容を発表する。 ・実施期間中に知り得た企業秘密等については、絶対他に漏洩しないこと。		
4	・実習は原則として無報酬とする。 ・事後指導として、全員の実習終了後報告会を開催し、問題点や改善点があれば問題解決のための方策を講じる。		
5			
6			
7	主なスケジュール		
8	4月 受け入れ企業等の調査と掲示		
9	5月 受け入れ企業とテーマや日程の調整		
10	6月 事前指導		
11	7月 インターンシップ実施		
12	8月 インターンシップ報告書の提出		
13	9月 10月 11月 インターンシップ報告会		
14			
15			
総授業時間数			120 時間